

## ソシエテ ジェネラルに対する The Mail on Sunday 紙の謝罪

ソシエテ ジェネラルは、当銀行の状況に関して、フランス政府となんらかの話し合いがもたれた可能性があるという、英国紙 The Mail on Sunday による完全に誤った無責任な報道を全面的に否定いたします。The Mail on Sunday は、誤りを認め、この根拠のない記事を抹消しました。

ソシエテ ジェネラルは、2011 年上半期に 16 億 6,300 万ユーロという堅調な純利益を上げており、これはギリシャ救済計画への参加による限定的な影響を織り込んだ数字であることを、改めて明言いたします。グループのユーロ圏における高リスク国に対するエクスポージャーは、全体的に低く、限定的なものです。当グループは、堅固な業績と 9.3%のコア Tier1 比率に基づき、非常に堅実な財務基盤と健全なビジネスモデルを有しており、現在の不安定な金融情勢を切り抜けることができると確信しています。また、フランスの銀行システムは、全体として、過去の危機的状況下において最も堅固なシステムの一つであることが証明されています。

また、The Mail on Sunday は、ソシエテ ジェネラルが全面的に否定している、当グループの状況に関する 2011 年 8 月 7 日付けの報道に対し、謝罪を発表しています。

次の謝罪文は、The Mail on Sunday が自身のウェブサイトに掲載したものです。

「2011 年 8 月 7 日付 The Mail on Sunday の本紙とオンライン版に掲載された記事に、本紙情報源により、欧州屈指の銀行であるソシエテ ジェネラルが“危険な状況”にあり、また“危機に陥る寸前”の可能性があると示唆する内容がありました。当社はここに、この報道は、誤りであることを認め、ソシエテ ジェネラルが被ったすべての迷惑に対し、全面的に謝罪いたします。」